

# G GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.8  
2  
FEBRUARY



インターアクトの翼in台北(台湾) 2025年12月24日(水)~28日(日)

## contents

1. ガバナーメッセージ
3. 2026年国際協議会参加報告
9. 委員会活動
11. 東第1グループ新会員セミナー開催報告
13. クラブサポートミーティングに参加して
14. 会員動向
15. 会員数の増減と出席率
16. 地区行事予定
18. ロータリー活動写真募集
18. 編集後記

よいことのために  
手を取りあおう



国際ロータリー第2830地区事務所  
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内  
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831  
E-MAIL rid2830@outlook.jp

# ガバナーメッセージ

ガバナー 米谷 恵司

日本の2月の主な行事・風習を分かりやすくまとめると以下のようになります。

## 2月の主な行事

### 2月3日ごろ | 節分(せつぶん)

立春の前日。豆まきをして「鬼は外、福は内」と厄を払い、恵方巻を食べる風習もあります。

### 2月4日ごろ | 立春(りっしゅん)

暦の上では春の始まり。青森県はまだまだ寒い時期ですが、新しい一年の節目とされます。

### 2月11日 | 建国記念の日

日本の建国をしのび、国を愛する心を養う国民の祝日。

### 2月14日 | バレンタインデー

日本では女性から男性へチョコレートを贈る文化が定着。本命・義理・友チョコなど独自の発展があります。

### 2月19日ごろ | 雨水(うすい)

雪が雨に変わり、氷が解け始める頃。農作業の準備を始める目安の日。

## ☒ 季節の風習・話題

- 確定申告(2月16日～3月15日) 個人事業主や医療費控除を受ける人にとって重要な時期。
- 受験シーズン本番 大学入試・高校入試が集中。
- 雪まつり・冬の祭り さっぽろ雪まつりなど、各地で開催。

## 2月の季節感

- 一年で最も寒い時期
- 梅の花が咲き始め、春の兆しが見え始める

この中で「節分」に焦点をあてて解説させていただきます。

### 節分の由来

節分(せつぶん)は、季節の変わり目に邪気(鬼)を払い、無病息災を願う行事です。もともと「節分」とは季節を分ける日という意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日すべてを指していました。

しかし旧暦では立春が一年の始まりと考えられていたため、特に重要視され、次第に 立春の前日=現在の節分(2月初旬) を指すようになりました。

## 鬼と豆まきの由来

古代中国の「追儺(ついな)」という、疫病や災いを追い払う儀式が日本に伝わり、宮中行事として行われたのが始まりとされています。

- 鬼: 病気や災厄の象徴
  - 豆: 生命力のある穀物(「魔を滅する=魔滅(まめ)」の語呂合わせ)
- これが結びつき、「鬼は外、福は内」と唱えながら豆をまく風習が生まれました。

## 恵方巻の由来

恵方巻は比較的新しい風習で、その年の恵方(縁起の良い方角)を向いて無言で太巻きを食べることで、福を取り込むとされます。

節分は、\*\*新しい季節・新しい年を迎えるための“心と暮らしの大掃除”\*\*とも言える、日本らしい行事ですね。

さて、2月は「平和構築と紛争予防月間(Peacebuilding and Conflict Prevention Month)」です。2014年10月RI理事会は、2月を重点分野:「平和と紛争予防/紛争解決月間」としました。紛争予防と仲裁に関する、若者(将来リーダーになる事が望ましい人)を対象とした研修に実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防/紛争解決に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

また、1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合を持った日であり、この2月23日を祝う創立記念日は「世界理解と平和の日」として順守されています。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。

国際ロータリーは創立以来、奉仕活動を通じて世界の平和に寄与することを使命として歩んできましたが、現代における平和の課題は、国家間の戦争だけでなく、地域社会に潜む対立、貧困や差別による不平等、災害や移民問題、さらにSNSを通じて拡散される憎悪や分断など、多面的で複雑化しています。ロータリーが果たすべき役割は、こうした社会のひずみを丁寧に見つめ、対話と理解を促し、衝突の芽を未然に防ぐことにあります。平和とは、ただ争いが「ない」状態ではありません。人々が安心して暮らし、尊厳が守られ、未来に希望を持てる社会を築くための基盤です。そのためには教育、医療、経済、環境など、さまざまな側面の安定と調和が必要です。ロータリーではこれを「恒久的な平和(Positive Peace)」と捉え、世界7つの重点分野が互いに支え合いながら平和構築に結びついています。つまり、私たちが日々取り組む地域奉仕や青少年支援、国際交流、公共イメージ向上の活動そのものが、広い意味で平和の礎となっているのです。

国際ロータリーの平和構築活動の象徴的な取り組みが「ロータリー平和フェローシップ」です。世界中の優秀な若者や実務家が、平和と紛争解決の専門家となるために大学院で学び、世界各地でリーダーとして活躍しています。彼らは紛争地帯での仲介、難民支援、教育プログラムの設計、政府機関との協働など、

現場の最前線で平和の担い手になっています。私たちの寄付や奨励金が、確実に未来の平和をつくる力となっていることを忘れてはなりません。また、ロータリーは「紛争予防」に焦点を置くことを重視しています。紛争が発生してから介入するより、問題が深刻化する前に地域の対立要因を取り除くほうが、より効果的で持続的な平和につながるからです。たとえば、貧困地域での衛生改善、識字率向上、女性のエンパワーメント、若者の職業訓練、災害時の支援体制づくりなどは、その地域の不安定要因を減少させ、紛争の種を未然に取り除く働きがあります。クラブが行う小さな奉仕プロジェクトでも、地域の人々の信頼と協力を生み、その積み重ねが平和に至る道筋を照らします。

私たちロータリアンは、紛争を遠い国の出来事として眺めるだけでなく、地域社会における“平和の実践者”である必要があります。例会での学びや会員同士の対話から、多様性を尊重し、寛容の心を育てること。地域の子どもたちに安全で健全な環境を提供すること。外国籍の方々、高齢者、障がいのある方など、社会的弱者とされる方々に寄り添うこと。こうした一つひとつの行動が、私たち自身の周りから平和を広げていく第一歩です。

世界がどれほど複雑になったとしても、ロータリーの理念「超我の奉仕」は決して古びません。むしろ、分断が進む現代社会だからこそ、利己を超えて奉仕する姿勢が強い力を持ちます。相手の立場に心を寄せ、理解し、共同でより良い社会を築く姿勢は、平和構築の根幹そのものです。ロータリーのネットワークと信頼関係は、地域から世界までつながり、平和の可能性を広げています。

2月の平和構築と紛争予防月間を通じて、クラブの活動を振り返り、私たちが平和にどう貢献できるかを改めて考える機会にしたいと思います。クラブでの勉強会や例会での卓話、青少年との交流、国際プロジェクトへの参加、さらにはロータリー財団への寄付など、それぞれの立場でできる行動は数多くあります。一人ひとりの行動の積み重ねが、やがて地域を変え、国を変え、世界を変える力となります。私たちロータリアンは、「平和は私たちから始まる」という自覚を胸に、負の連鎖を断ち切り、希望の未来を築くための一助となりましょう。奉仕の心をもって歩む私たちの姿こそが、地域と世界に平和の灯火をともし続けるのです。



# 2026年国際協議会参加報告

ガバナーエレクト 成田 俊介

(弘前西RC)

2026年1月11日(日)から1月15日(木)まで開催された国際協議会(International Assembly以下IAに略す) に出席してきました。IA出席とその準備がどのようなものかを報告します。

## 出発前の準備

登録:国際ロータリー(以下RI)から9月5日にメールでIAの登録をMyRotaryで行うようにメールが届きました。登録内容は自分の情報とパートナーの情報とかで名前(ローマ字表記)、住所(英文で)、IA開催中にぶら下げる名札に記載する名前(自分はShun)、e-mail アドレス、電話番号、緊急連絡先とその電話番号、職業分類、食事制限の有無などを入力します。登録締切が10月17日と早いのでここから気の抜けない日々が始まります。

RITSの手配:Rotary International Travel Service (RITSに略す)というRIの指定する旅行業者を使って旅行の手配を行うように2025年9月開催のガバナーエレクトラーニングセミナー(以下GELS)で



RITSで手配したガバナーエレクト7名(経由地のヒューストンか?)

説明がありました。RITSを使った場合のみRIからエコノミークラスの往復代金が支給されますが、それ以外の方法で手配した場合は支給されません。自分はRITSを使用してRIからの補助と地区からの補助で旅費の大半を支援して頂きましたが、それでも10万円くらいは個人出費があります。RITSからの旅行案内が来る前に他地区のガバナーがツアーを取り纏めるというお誘いがありました。ビジネスクラスを

使うプランで150万円くらいと言うことで諦めました。

GNLS,GELS:2024年4月のクラブ活性化セミナーにガバナーノミニーデジグネイトとして出席してから年1-2回のガバナーノミニーラーニングセミナー(以下GNLS)とGELSに参加してIAへの参加のための研修を受けました。IAでの分科会はRLI方式で行われますがGNLS、GELSもRLI方式で行われますがRLI方式は疲れます。2025年11月にGELS終了となったときは「あとはIAだけだっ!」という充実感を覚えました。数日後に2820地区の藤木章吉エレクトの訃報が届き、地区番号が隣で座る位置も隣になることが多かっただけに悲しかったです。

### 旅行日程

- 1月9日(金) 午後 青森空港を出発、蒲田に宿泊
- 1月10日(土) 午前羽田発、RITS利用の7名はヒューストン経由でオーランド入りして空港近くのホテルに宿泊
- 1月11日(日) 午前にホテルを出て昼食会場まで市内をバス車内から見学。立ち寄ったスーパーで酒とおつまみを購入しました。  
昼食はステーキ屋さんでハンバーガーでしたが食べきれませんでした。  
14:30 IA会場のホテル到着
- 1月12日(月) 9:00 開会本会議でIA開始。
- 1月15日(木) 夜の晚餐会でIA終了。
- 1月16日(金) 8:30空港へのバスにRITS利用の7名が乗車してシカゴ経由で帰国
- 1月17日(土) 22:00羽田空港着でこの時間で青森までの移動手段はないので蒲田に宿泊
- 1月18日(日) 朝一便で青森空港着と言うのが旅行日程です。



RITSの添乗員とRITS手配組:オーランド到着して空港近くのホテルで一杯

## IAプログラム

1月11日(日)14:30 IAの会場のに入り日本からの参加者全員がIAの受け方・心構えなどのセミナーを受けました。

18:00-19:30 Let' s Connect レセプションパーティーに参加



RI会長エレクトの「インカ」さん

この日以降日本からの参加者の二次会会場に毎晩自分の部屋になりました。



RI理事、RI理事エレクトと遅くまで呑みながらRotaryを勉強しました。

1月12日(月)9:00 開会本会議 その後分科会



昼食後第2本会議とワークショップ

ワークショップは将来のRotaryのイメージがわかる造形物を作るというテーマだったと思います。

18:00 コHORTプログラムごとに夕食

コHORTプログラムとは？コHORTとは日本語に訳すと「同期」ですが、全世界から5名の同期エレクトでグループを作らされて交流するプログラムでした。自分のコHORTチームは日本人2名、ドイツ人1名、米国人2名でした。

1月13日(火)午前・午後 本会議とその後の分科会

<https://my.rotary.org/ja/events-and-connections/events/international-assembly>

おそらく上のリンク先はガバナーエレクトの権限が無くとも見られると思うのですが参考資料の所にある「ガバナーエレクトワークブック」を使って分科会は進行します。このワークブックは出発前にpdfで入手してましたが、現地で印刷された冊子が提供されました。本会議や分科会ではこのワークブックに書き込んでいくのですが、今後の方針がこのワークブックに書き込まれていてガバナーを終えるまで参考にしていっていただくことになると思います。

1月12日(月)9:00 開会本会議 その後分科会



分科会の風景(RLI方式で行われます)

18:30 Deliver on the Promise夕食会

1月14日(水) 午前・午後 本会議とその後の分科会

17:30から各国の民族衣装で集合・ディナー



2025年のGELSで同期のガバナー会議長から統一の絆纏を準備して着ましようと言うことで持って行きました。自分は浴衣の上に絆纏を着て参加しました。

1月15日(木) 午前本会議の後は3つの分科会

18:45閉会セッション&晩餐会。IAは本会議・分科会・パーティーとon/offのメリハリがありますが疲れるイベントで昨年も参加したエレクトが帰国後亡くなられています。

IAだけに出ればガバナーになれると誤解されている会員もおられると思って準備段階からの報告となりました。ただIAは同期のエレクトが集合してこれからのRotaryを熱く語る場所ですので是非デジグネイトに手を上げて欲しいと思います。



最終日にIA会場の階段で記念撮影

委員会活動

# 翔たくアクトの翼

インターアクト委員 **伊藤 圓子**

(八戸中央RC)

「インターアクトの翼」が、12月24日に羽田から台北に向かって飛び立った。  
国際ロータリー第2830地区インターアクト委員会の恒例事業となっている。

県下7校よりアクター11名と名久井農業高等学校、弘前学院聖愛高等学校より顧問の佐藤広大先生、菊池あずみ先生、そして米谷恵司ガバナーのご参加を得て、松山隆志委員長のもと、成田秀治パストガバナー、柴田文彦国際奉仕委員長等9名のロータリアン、総勢22名の一行だ。

アクターのほとんどが、パスポート初取得、初フライト、初ホームステイと初めて尽くし。しかし、皆前向きで期待に胸膨らませた。

訪問地羅東は、台湾北東部の宜蘭県のほぼ中央に位置し、台北市からバスで小1時間程。

今回もホスト校をお引き受けくださった国立羅東高級中学校(以下羅東高校)に到着するや、大勢の出迎えの皆様方の姿が目飛び込んできた。先生、生徒、そしてホストクラブの羅東RCの黄有真会長はじめ多くのロータリアン、ホストファミリーの方々が、熱烈な歓迎をくださった。既に何度かお会いし顔馴染みになった方々と、再開の喜びに思わずハグ。相方のロータリアン同士のハグ、ハグが続く。

この様子を目の当たりにしたアクターたちも、相方のロータリーの友好の絆の中で、アクトの翼の実現を可能にしていることを強く感じたことだろう。合わせて姉妹提携を結ぶ羅東、十和田東両RCの友好が土台にあることを添えたい。

その夜は、羅東RC主催によるウェルカムパーティーへのご招待をいただく。黄会長、羅東高校の張家豪校長の歓迎のご挨拶、米谷ガバナーの謝辞に続き、羅東高校日本語クラブ会長とアクターリーダーの名久井農3年生の鈴木奨悟さんが、各々日本語を英語で挨拶を交わし、今晚からの交流に期待を示した。

アクターたちは、お世話になるホストファミリーの家族と同じテーブルに着き、豪華な台湾料理に圧倒されながら舌鼓を打ちつつ、会話を交わした。言語の壁に苦戦しつつも、パーティーの終盤にはすっかり打ち解けた様子。

ホストファミリーは、学校やRCが協力呼び掛けで、アクターと近い年齢の生徒がいるファミリーが受けてくださっている。

一夜明け、兄弟姉妹のように一緒に登校。セレモニーホールにおいて、学校による歓迎セレモニーが催された。張校長先生からは、若い世代の国境を越え、異文化に触れつつ交流を深め、友好の絆を結ぶことを期待しエールが送られた。日本語クラブ代表の歓迎のことばは、昨夜と同様、見事に完璧な日本語で、発音は元より、アクセント、イントネーションは標準語そのもの、勿論英会話も上級、国立羅東高校は、1944年3月に設立された理数系の名門進学校で、校内外の環境は大学のキャンパスのようだ。

強い刺激を受けつつも、アクター代表の鈴木君も、英語で立派に挨拶を述べ、任を着実に務めた。軽

快なバンド演奏で会場が一つになったところで、全アクターによる青森県の紹介に入る。津軽、南部の特徴、特産、なまり等を三択クイズ形式で、全て英語で時折爆笑を誘いつつ進行、日本語クラブの生徒は日本の地理、歴史、伝統文化も学んでおり、青森県のクイズも高い正解率だった。

校内での体験学習では、今回は思い思いにリラックス系、リフレッシュ系等、好みのアロマづくりに挑戦。これまでも内庭の木陰で習字の実習、原住民に伝わる伝統的織物の手法でミサガ製作、伝統的料理の調理見学と食事等々、訪問の都度、内容を工夫して準備くださっている。いずれも羅東生が指導、サポートを務める。

校外では、相方の生徒と共に国立伝統芸術センターへ。台湾オペラ劇場、伝統的寺院建築物、手づくり民芸工房等、広大な庭園内に配置されている。生徒同士、身振り手振りを混えた英語で一緒に巡りながら、異文化を肌で感じる機会となったことだろう。

この後は、学校においてナイトパーティーに参加し楽しんだ後、アクターたちは羅東最後の晩をホストファミリーにおもてなしの限りを尽していただいた。身も心も満杯になり、床に着くや明日の惜別の寂しさを募らせた。

翌朝(12月27日)、バスの出発時刻もいとわず両国の生徒たちは、スマホで写真を撮り合い涙ぐむ光景が続く、今回のことだが、この場面がアクトの翼のハイライトだ。我々も思わず目頭を熱くする。そしてお別れ。見送る方々の振る手はバスが見えなくなるまで続いた。

アクターの感想の一部を。○高校生でこのような貴重な体験ができて良かった○この体験により進路選択の幅が広がった○言語の勉強と共に積極的に関わる勇気を養いたい○他国に学ぶと共に自国の文化、歴史をもっと勉強したいと思うきっかけになった。

帰国前夜(12月27日)、23時過ぎに地震(台北市震度4)。顧問の先生方の適切な誘導をいただく。ホストファミリーから心配の電話、メールが届き、ジーンときたというアクターも。

アクター皆一様に、自分たちのためにアクトの翼に関わってくださった全ての方々に、かつ親に感謝の念を抱いた。

最終日(12月28日)、早朝、現地ガイドの優しい龍さんの見送りに感謝し、アクトの翼は帰路のフライトに。

今後のアクターたちの人生が、実り豊かになるための糧の一つになることを願って止まない。

末筆ながら、アクターたちの心強い応援団長役も担っていただいた三八五観光の野里藍香様に謝意を申し上げます。

# 東第1グループ新会員セミナー開催報告

東第1グループガバナー補佐 百田 忠

(野辺地RC)

2026年1月31日(土)午前11:00

野辺地RC例会場「ウロコマル野坂屋 蔵」

## 参加者

地区ガバナー米谷恵司(青森モーニングRC)、地区ガバナーノミニー岡山信弘(六ヶ所RC)

地区クラブ拡大・会員増強委員会委員長吉田賢治(八戸南RC)、地区ローターアクト委員会委員長峯 雅夫(むつRC)、地区米山記念奨学委員会委員野坂幸子、野辺地RC会長熊谷一成、東第一グループガバナー補佐百田 忠(野辺地RC)

## 新会員参加者

むつ中央RC 渥美可奈子

東北RC 鎌本晴彦、鶴ヶ崎大介

六ヶ所RC 荒川 裕

七戸RC 蛸名昴一郎

野辺地RC 柴崎秀作、岡山せつ

## 次 第

11:00開会米谷ガバナー挨拶

ロータリークラブにご入会いただき心からお祝い申し上げます。そして心から感謝、歓迎致します。本セミナーの趣旨は、新たにロータリアンとなられた皆様に、ロータリーの理念・歴史・組織、そして会員としての役割と楽しみ方を理解していただく事を目的として開催しております。ロータリアンとしての第一歩を自信と誇りを持って踏み出す機会となり、今後のクラブ活動をより楽しく、より実りあるものとする一助となれば幸いです。どうぞ本日は、肩の力を抜いてご参加いただき、疑問や関心を持ちながら、ロータリーの世界に触れていただければと思います。

## 参加者自己紹介

### 11:30～吉田委員長講話

ロータリークラブは、単なる親睦団体ではなく、「奉仕を通じて社会に貢献する」という共通の理念のもと、職業・世代・地域を超えた仲間が集う国際的な奉仕団体です。その活動は、地域社会への奉仕から国際支援、次世代育成、平和構築にまで及びます。

- ・ロータリーの目的と価値観
- ・クラブおよび国際ロータリーの仕組み
- ・新会員の皆さまに期待される役割
- ・ロータリー活動に参加する意義と魅力について、資料「ロータリーの基本知識」をプロジェクターを使い、分かりやすくお伝えいただきました。

### 12:30～意見交換

各クラブの例会状況、奉仕プロジェクトについて、ロータリー用語、インターアクト・ローターアクト、米山奨学生について、ポリオワクチンについてたくさんの質問、意見がございました。

### 12:50～雑談交えての昼食

### 13:20米谷ガバナー講評、閉会



# クラブサポートミーティングに参加して

鯨ヶ沢RC会長 杉澤 廉晴

国際ロータリー第2830地区において、今年度から新たに始まったクラブサポートミーティングに参加しています。本ミーティングは、ガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐、そして各クラブの会長・幹事などが参加し、クラブ運営に関するさまざまな情報交換を行う場として設けられたものです。Web形式でおむね三か月に一度開催されており、立場や役割を超えて直接意見交換ができる大変貴重な機会となっています。

ミーティングでは、ガバナーの年度方針や地区としての方向性を直接伺うことができるほか、各クラブが取り組んでいる活動内容や工夫についても共有されています。クラブごとに規模や地域性、歴史は異なりますが、共通する悩みや課題も多く、他クラブの実践例や考え方は日々のクラブ運営を考えるうえでとても参考になっています。特に、同じ立場である会長・幹事の率直な意見や経験談に触れることで、「自分たちだけではない」と感じられる点も多くホッとする場面も多いです。

特にありがたく感じていますのは、自分の所属するクラブが抱えている課題について、気兼ねなく相談でき、さまざまな立場からアドバイスをいただける点です。これまでも「聞いてみたい」と思うことはありましたが、このように関係者が一同に集まる機会は少なく、遠慮してしまうことも少なくありませんでした。クラブサポートミーティングでは、その距離感が程よく、安心して話ができていると感じています。

また、Web開催であることから参加調整がしやすく、現在のところ皆勤で参加しています。移動の負担がないため、日常の業務や家庭とも両立しやすく、継続して参加できている点も大きな魅力です。画面越しではありますが、顔を合わせて意見を交わすことで、地区全体のつながりを身近に感じられる時間にもなっています。

このミーティングを通じて、自分の所属するクラブの現状について、改めて考える機会と捉えております。会員構成や活動内容を見つめ直しながら、「どのようなクラブであれば地域の方々に親しみを持ってもらえるのか」「自然と入りたくなる雰囲気とは何か」を考えるようになりました。クラブの魅力を少しずつ高めていくことが、結果として新たな仲間との出会いにつながり、会員増強にも結びついていくのではないかと考えております。

今後も、クラブサポートミーティングで得た知見を参考にしながら、所属クラブがより身近で、参加しやすい存在となるよう、会長の立場からできることを一つずつ取り組んでいきたいと思っています。

是非とも次回以降もより多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております！

# 会員動向

## 入会者



祐川 誉徳  
(むつ RC)  
12月13日入会

## 退会者

クラブ名	氏名	退会日
七戸	中嶋 建一	12月11日
七戸	石田 博也	12月18日
十和田	沖沢 昌浩	12月23日
十和田	築場 一男	12月23日
十和田	佐々木 和典	12月31日
五所川原	平泉 友弘	12月31日
五所川原中央	小野 順蔵	12月31日
五所川原中央	宮越 順子	12月31日
弘前	木村 久光	12月31日
弘前	細川 勝也	12月31日
青森	吉川 健一	12月31日
青森	高橋 宏征	12月31日
青森モーニング	川村 智	12月31日
青森モーニング	大森 賢二	12月31日
青森モーニング	山崎 結子	12月31日
八戸中央	向井田 貞雄	12月22日

## 米山記念奨学会寄付 <米山功労者>



三上 貴生  
(弘前RC)  
第9回  
マルチプル



長嶺 康廣  
(八戸南RC)  
第47回  
メジャードナー

## 2025年12月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	12月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑) (うち、むつ八戸いちい)	2	99.00	59 (8) (8)	1 (0) (0)	0 (0) (0)	60 (8) (8)	5 (1) (1)	50 (8) (0)	10 (0) (8)	0 (0) (0)	25.00
	野辺地	3	91.41	14	0	0	14	3	14	0	0	92.86
	七戸	3	71.05	15	0	2	13	2	13	2	2	15.38
	東北	3	85.42	16	0	0	16	2	16	0	0	87.50
	むつ中央	3	71.00	21	0	0	21	1	19	2	0	9.52
	六ヶ所	5	62.00	38	0	0	38	1	36	2	0	31.58
	小計			163	1	2	162	14	148	16	2	
東第二グループ	三沢	2	70.00	21	0	0	21	1	21	0	0	42.86
	十和田	3	44.00	32	0	3	29	7	33	2	6	31.03
	十和田東	4	42.00	29	0	0	29	5	28	1	0	48.28
	おいらせ	1	83.00	6	0	0	6	0	6	0	0	50.00
	三沢東	3	74.00	36	0	0	36	4	36	1	1	30.56
	十和田八甲	3	59.70	83	0	0	83	1	80	4	1	39.76
	小計			207	0	3	204	18	204	8	8	
西第一グループ	五所川原	4	57.60	59	0	1	58	7	60	0	2	70.69
	金木	4	81.00	11	0	1	10	1	12	0	2	16.67
	鱒ヶ沢	2	53.20	16	0	0	16	2	16	0	0	43.75
	鶴田	2	81.25	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	3	50.00	24	0	2	22	1	24	0	2	54.55
	つがる	4	66.70	33	0	0	33	0	34	0	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	41.00	25	0	1	24	7	25	0	1	58.33
	小計			176	0	5	171	19	179	0	8	
西第二グループ	弘前	3	60.30	48	0	2	46	5	50	0	4	47.83
	弘前東	1	100.00	8	0	0	8	5	9	0	1	37.50
	板柳	2	75.00	10	0	0	10	2	8	2	0	20.00
	黒石	3	66.00	23	0	0	23	3	23	0	0	47.83
	大鱈	3	70.00	10	0	0	10	0	9	1	0	30.00
	弘前西	2	100.00	31	0	1	30	5	29	2	1	56.67
	平賀・尾上	2	44.40	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	50.00	15	0	0	15	2	15	0	0	73.33
小計			154	0	3	151	22	152	5	6		
中グループ	青森	3	60.50	103	0	2	101	10	104	3	6	100.00
	青森北東	2	73.70	20	0	0	20	3	20	1	1	65.00
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	55.00	21	0	3	18	3	20	1	3	65.00
小計			150	0	5	145	17	150	5	10		
南グループ	八戸	4	75.00	68	0	0	68	0	63	6	1	38.24
	八戸東	3	100.00	51	0	0	51	1	46	5	0	54.90
	三戸	3	90.00	7	0	0	7	1	7	0	0	85.71
	五戸	3	89.00	13	0	1	12	1	12	1	1	58.33
	南部	3	77.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	4	60.30	39	0	0	39	7	38	1	0	53.85
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	4	70.40	40 (10)	0 (0)	0 (0)	40 (10)	12 (10)	39 (9)	3 (2)	2 (1)	90.00
	八戸中央	1	71.40	15	0	1	14	7	11	6	3	35.71
	八戸西	3	52.30	37	0	0	37	23	34	3	0	43.24
小計			279	0	2	277	52	259	25	7		
合計 40RC			1,129	1	20	1,110	142	1,092	59	41	51.45	

※ ( ) 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2025年6月末会員数です  
7月1日の会員数は1,107名です  
12月末現在の入退会人数です

## 地区行事予定 2026年2月／平和構築と紛争予防月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)	第3回全国インターアクト委員長会議	ハイブリッド開催
2	(月)		
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)	建国記念の日 諮問委員会（成田俊介GE国際協議会報告）	ホテル青森
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	八戸東RC創立65周年	八戸パークホテル
15	(日)		
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)	地区チームラーニングセミナー（DTLS）	弘前文化センター／ラグリー
22	(日)	映画「じょっぱりー看護の人花田ミキ」無料上映会	下北文化会館大ホール
23	(月)	天皇誕生日	
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)	西第2グループIM	フォルトーナ（弘前市）

地区行事予定 2026年3月／水と衛生月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)	第6回全国RYLA運営委員会及び地区RYLA委員長合同会議	ハイブリッド開催
2	(月)		
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)	米山奨学生修了証書授与式	ホテル青森
8	(日)		
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	中グループIM	ホテル青森
15	(日)	野辺地RC創立60周年 第1地域「地区ガバナーサポートミーティング」	亀の井ホテル青森まかど（野辺地町） Zoomオンライン
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)	東北多地区合同スプリングキャンプ並びにIBS日本語コンテスト（～21日）	花巻温泉「ガーデンリゾート 悠の湯 風の季」
20	(金)	春分の日 第5回クラブサポートミーティング	Zoom
21	(土)		
22	(日)		
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)	会長エレクト・ラーニングセミナー（PELS）	弘前文化センター／フォルトーナ
29	(日)	会長エレクト・ラーニングセミナー（PELS）	弘前文化センター／フォルトーナ
30	(月)		
31	(火)		

## みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?  
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した  
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと  
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



### 編集後記

今月2月は「平和構築と紛争予防月間」です  
とても尊く、世界の永遠の祈りはロータリー創立から変わることはありません  
米谷ガバナーメッセージの「不易流行」に重ね合わせることができますね  
また国際ロータリー創立日が1920年2月23日ですから、天皇誕生日と一緒にお祝い  
しましょう!!

今月の活動報告として「羽ばたくアクトの翼」  
台北のインターアクトそしてファミリーの皆様との交流・親睦が深まったようです  
6月開催される「国際大会」はこの台北ですね  
青森空港から直行便で行けるようになり更に便利になりました  
まだ登録していない方はMy Rotaryからぜひ!!

最後に、2830地区会員数は12月末1110名  
40年ぶりの豪雪の青森も、間違いなく春が近づいてきます  
フレッシュな仲間をクラブに迎え入れること、共に前に進めましょう

ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**  
(青森ロータリークラブ)